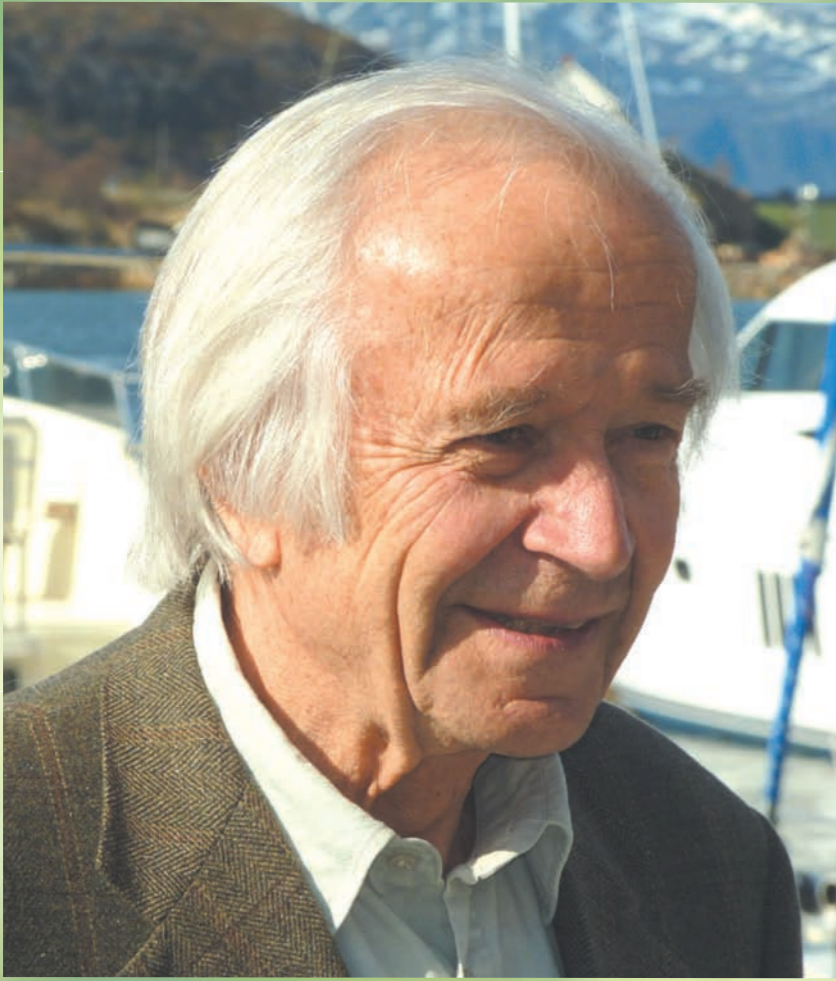


人間を大切にする刑事政策を求めて ～ノルウェー犯罪学の実験～



基調講演

「ノルウェー犯罪学の理論と実践」

ニルス・クリスティー氏（オスロ大学教授）

ニルス・クリスティー Nils Christie（オスロ大学教授）

ノルウェーの社会学者、犯罪学者。1966年以來、オスロ大学教授。コペンハーゲン大学名誉教授。その著書『刑罰の限界（Pinens begrensning ; Limits to Pain）』（1981年）は、多くの国で翻訳された。薬物犯罪、産業社会、刑務所などを鋭く批判している。

コメンテーター

リル・シェルダン氏（オスロ大学教授〔ノルウェーから見た日本〕）

浜井 浩一氏（本学法科大学院教授〔犯罪学の立場から〕）

赤池 一将氏（本学法学部教授〔刑事政策の立場から〕）

津島 昌弘氏（本学社会学部教授〔社会学の立場から〕）

鍋島 直樹氏（本学文学部教授〔宗教学の立場から〕）

加藤 博史氏（本学短期大学部教授〔社会福祉学の立場から〕）

司会：石塚 伸一氏（本学法科大学院教授）



2011年10月8日（土）13:30～17:30（開場12:30）

龍谷大学アバンティ響都ホール（京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階）

【開催趣旨】

これまで、龍谷大学は、犯罪や非行をおかしてしまった人たちの社会復帰のためにさまざまな事業をしてきました。1977年には特別研修講座「矯正・保護課程」を設置、2002年には文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（AFC）の助成を得て「矯正・保護研究センター」を設置しました。2010年、これらの教育と研究の実績をより発展させ、その成果を広く社会へと還元するため「矯正・保護総合センター」を開設しました。

このたび、上記総合センターの開設を記念し、国際シンポジウムを開催することになりました。メイン・ゲストには、北欧犯罪学をリードし、人間を大切にする刑事政策の実現に多くの成果をあげてきたノルウェーの碩学ニルス・クリスティー教授（オスロ大学）をお招きし、この問題に関心をもつ多くの方々とともに、日本の刑事政策の目指すべき方向を考えてみたいと思います。

**来聴歓迎（事前申込必要）/同時通訳あり/先着250名
問合せ先/龍谷大学矯正・保護総合センター 事務局**

参加を希望される方は、龍谷大学矯正・保護総合センターのホームページ（<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/index.php>）のページ上部にある「お申し込み」からお申し込みください。

申し込み方法がご不明な方は、龍谷大学矯正・保護総合センター事務局（075-645-2040）までご連絡ください。

【事前学習企画】「人間を大切にするノルウェーの刑事政策とはなにか」

10月1日（土）3・4講時（13:15～16:30）龍谷大学深草学舎21号館603教室

ナビゲーター：石塚伸一氏（龍谷大学法科大学院教授）

主催：龍谷大学 矯正・保護総合センター（〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 電話 075-645-2040）

後援：京都府・京都市・京都弁護士会・日本弁護士連合会・NHK京都放送局・朝日新聞京都総局・

読売新聞京都総局・毎日新聞京都支局・共同通信社・京都新聞社・京都府保護司会連合会・京都BBS連盟